

## 令和5年度 陽明中学校スクールプラン

**【学校教育目標】 協同的で探究的な学びによって自らを高めていく生徒を育てよう**

### — めざす生徒像 —

- ・課題を見つけ、課題に挑戦し、ねばり強く取り組む生徒
- ・自分の思いや「わからなさ」を積極的に伝え、他の意見を聴き、共に学びを深めようとする生徒
- ・学び合いの中で、自らを高め、その高まりを実感できる生徒

**研究主題 「つなぐ学び」 ～自ら学びを進める(生かす 深める 拓く)～**

### — 重点目標 —

<p><b>【授業づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分から学ぶ」「仲間から学ぶ」「ねばり強く学ぶ」生徒を育てる。</li> <li>○自分らしさを発揮し、誰もが安心して学べる環境を作る。</li> <li>○協同的な学びにより、一人一人の学びを保障する。</li> </ul>	<p><b>【集団づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的な学級活動や生徒会活動を通して、自治の力や自信を育む。</li> <li>○自発的・自治的な異年齢集団活動を通して、望ましい人間関係を作る力を育む。</li> </ul>	<p><b>【信頼される学校づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校が、家庭・地域に信頼される。</li> <li>○家庭・地域と共に、生徒を守り育てる。</li> </ul>
--	--	---



### — 具体的な取組 —



<p><b>○挑戦のみえる授業改革</b></p> <p><b>【朝活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士の対話を通して、互いに学び合おうとする学級づくりを行う。</li> </ul> <p><b>【互見授業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1授業実践、事後研究会を通して、互いのスキルアップを図る。</li> <li>・ファシリテーターとしての在り方を研究する。</li> </ul> <p><b>【探究】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間における探究活動の充実を図る。</li> </ul>	<p><b>○生徒主体の活動への転換に挑戦</b></p> <p><b>【活動タイム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自治意識を育む。</li> <li>・主体的活動を充実させるための集団づくりを行う。</li> </ul> <p><b>【各種ミーティング活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒とともに現状を分析することで、改善意識を共有し、自分事として捉えて主体的に行動できる集団を育む。</li> </ul> <p><b>【陽明人権月間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権について自分事として考え、生徒同士の意見交流を通して、人権意識を高める。</li> </ul>	<p><b>○学校公開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、教育活動の様子を公開できるように、学校公開日を設ける。</li> <li>・学校公開日に道德の授業を公開し、地域と共に道德教育を推進していく。</li> </ul> <p><b>○学校だより</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からのたよりと、家庭・地域からの返信のやりとりを通して、共通理解を図る。</li> </ul>
<p><b>○特別支援教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に特別支援教育コーディネーターを配置し、毎週のサポート委員会や毎学期の特別支援教育委員会を通して生徒についての共通理解を深め、全教職員で丁寧な支援を行う。</li> </ul> <p><b>○教育相談の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談月間での生徒との面談やスクールカウンセラーと全生徒との面談を通して、生徒理解と不登校・不登校の未然防止につなげる。</li> </ul>		

### — 数値目標 —

学校が楽しい 70% 皆で何かをするのが楽しい 80% 主体的に学ぶ 70% 授業が分かる 70%  
夢や目標がある 80% 小学校からの学びを生かす 80% 学校と共通理解のもと生徒を育てている家庭 85%

### — 業務改善のための取組 —

- ・各担当別の業務引き継ぎ書を更新しながら、随時、業務の見直しを行う。
- ・学校づくり推進委員会を設置し、教育課程の振り返りと改善を行う。
- ・見通しを持って業務に当たれるよう「業務の流れ」を示し、業務の調整を行う。
- ・部活動、委員会等を複数担当とし、出退勤時刻を自ら調整できるようにする。